

Q. みかん缶に、一部が黒変した果肉が入っていました。黒い部分ができるのはどうしてですか？

A. 黒変した部分は病虫果と呼ばれるもので、選別工程で除去されず混入したものです。

病虫果は、みかんの果肉部分をカメムシ等の害虫が吸汁し、果肉の細胞が委縮することで発生します。時間が経つと徐々に黒変し、写真のような状態になります。

近年、残留農薬問題から農薬の使用が減り、害虫による被害の発生が多くなっています。

当給食会では、購入業者を通じ、原料みかんの生産者への注意喚起および、製造工程の各チェックポイントにおける目視選別の徹底を指導するなど、病虫果の混入防止に努めています。発見された場合、取り除いてご使用いただければ問題ありません。

(参考:生活協同組合コープこうべホームページ、公益財団法人 福岡県学校給食会HP)

